

## 2月のことば

## 正しい心⑤ ～ 日本人としての自己肯定感の回復

## 鬼 ～凍りつく話し

2月11日(祝)。「どうして今日は建国記念日なの？」と子どもが問うても80歳位以下の人は容易に答えられない。これが今の日本。

それは昭和20年、GHQの日本占領策の“日本解体”による。日本神話を宗教とし、教えてはならない事とした。20世紀の大歴史学者アーノルド・コ・トレンビー<sup>いわ</sup>曰く、「12、3歳位までに民族の神話を学ばなかった民族は、例外なく滅んでいる。」と…。

## 鬼 ～燃える話し

GHQやアメリカが悪いのではない。うしはく戦争が悪。よって当時の失われたものを今回復せねばならぬ！

まず日本人が日本のことを知り、<sup>あが</sup>崇めるのは当然で、宗教に<sup>あら</sup>非ず。よって、日本神話は宗教ではなく、「日本人として、こんな時はこう考えて行動するのですよ。」というご先祖の親切丁寧な言い伝え。ストーリーは今述べませんが、ここにある正しい“日本の心”を少し書き出すと…

・「しらす」心

×「自分がしたい」のではなく、○「皆のために…する、祈る」という心  
→ 結局 皆がついてくる。<sup>ふきゅう</sup>不朽(皇室)

・「うしはく」心

× 我がものに占領する × 自分のためにすること → <sup>えいこせいずい</sup>栄枯盛衰あり  
(中華、西洋諸王朝<sup>しよおうちやう</sup>)

・「<sup>ことだま</sup>言霊」の考え

言葉に出しているとそうなる。重要な時に言葉を間違えると悪い結果が出るということ。

・「<sup>やおよろずかみ</sup>八百万神の国」

全て自然が神。絶対的な一人の神にあらず。山・川・海・空・島を大切にせねば日本は成り立たぬ(海洋国家)こと。そこに古くて神聖なものがあれば礼をすること等…。

これらの考えに後、<sup>ぶっきやうしんどう</sup>仏教(仏教神道)、儒教、禅宗、宋学(大義名分)、武士道が加わり“日本精神”となった。しかし、今、全て欠落。代わりに<sup>てれび</sup>TVの軽薄な情報に左右される有様。

## 鬼へ ～冷静に

よって、子ども達には…

① 物事の事実(恐竜の話等) ～ 科学する力

② 人の心の真実(日本神話等) ～ 運と福を引き寄せる力

を話し、正しい自己肯定感を持ち、勇気と優しさを備えた日本人となり、世界をリードして欲しいと思います。